

第 7 回 健康寿命をのばそう！アワード〈母子保健分野〉自治体部門 取組概要

自治体名	静岡県
取組タイトル	小さく生まれた赤ちゃん和妈妈・パパのための手帳による育児支援 しずおかリトルベビーハンドブック
WEB サイト URL	http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-140/shizuoka_lbh.html
健やか親子 2 1 (第 2 次)取組課題 ※当てはまるものに✓ (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 基盤課題 A「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」 <input type="checkbox"/> 基盤課題 B「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」 <input checked="" type="checkbox"/> 基盤課題 C「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」 <input checked="" type="checkbox"/> 重点課題①「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」 <input type="checkbox"/> 重点課題②「妊娠期からの児童虐待防止対策」

しずおかリトルベビーハンドブックとは？

しずおかリトルベビーハンドブックは、小さく生まれた赤ちゃん和妈妈・パパのために、全国で初めて当事者である母親たちと一緒に作成した低出生体重児用の手帳です。早産等による低出生体重児の場合、身長や体重などの成長や運動機能の発達が正常産の児と比べて遅れることが多く、月齢ごとに標準的な成長・発達を確認する通常の母子健康手帳では記録できない項目もあるなど、母親たちの心理的な負担が強くなっていました。そこで、静岡県では、発達の遅れを考慮した低出生体重児用の手帳「しずおかリトルベビーハンドブック」を作成し、平成 30 年 4 月から配布を開始しました。

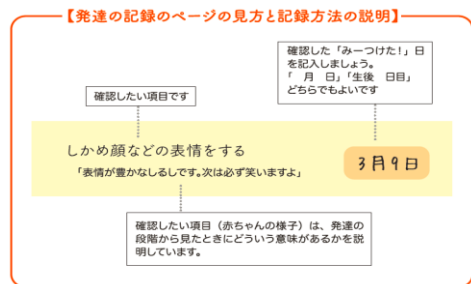


しずおかリトルベビーハンドブックの使い方

しずおかリトルベビーハンドブックは、通常の母子健康手帳と一緒に保管・使用します。健診や予防接種など妊娠・出産・子育てに関する重要な情報は、従来どおり母子健康手帳に記録し、母子健康手帳での記載が難しい部分をこの手帳で補います。

しずおかリトルベビーハンドブックの特徴

- 3 つの当事者団体と総合周産期母子医療センターの医師・看護師等専門職、行政機関などが一緒になって母親目線で作成した全国で初めての手帳
- 両親が児の細やかな成長を喜ぶことができるよう、月齢単位ではなく、成長・発達の遅れや個人差を考慮した記録項目を工夫
- 保護者の心理的不安に寄り添うために、先輩ママ・パパのメッセージを全ページに挿入、元リトルベビーたちの作品や家族会の紹介ページを作成
- 医療機関が入院中の様子などを記載するための記録用シールを作成
- 極低出生体重児（出生体重 1,500g 未満の児）用の発育曲線を掲載



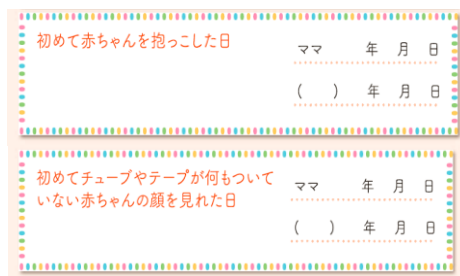
発達の記録のページの例



NICU で手帳を配布しています



家族会でママたちから手帳の感想を聞きました



赤ちゃん和家人の「初めて・・・」の記録の例

成果と今後の展開

利用者からは、「小さく生まれたからこそ特別な記録ができる」「同じ経験をしている母親と出会うきっかけになった」など多くの喜びの声をいただいております。県が主体となって作成・発行したことや検討段階から多くの関係機関と一緒に作り上げたことで、全ての周産期母子医療センター・市町での配布の協力が得られ、支援が必要な全ての児と家族の手に渡る体制を整えることができました。さらに、全戸配布の広報誌（県民だより）や全国版の子育て雑誌への記事掲載、ホームページ上での「電子ブック版」の公開、講演会や交流会での説明など、幅広く周知をしており、県内外よりたくさんのお問合せをいただいております。

「しずおかリトルベビーハンドブック」が本県のスタンダードな母子保健サービスとして定着することで、誰ひとり取り残されることなく安心して子育てができる地域づくりに繋がるものと考えています。今後は、市町の乳幼児健診や地域のかかりつけの小児科等でも当たり前のツールとして活用されることを目指して、本手帳の普及と活用支援に取り組んで参ります。

先輩ママのメッセージに勇気もらった

できるようになってチェックできるのが嬉しい

手帳を利用したママ・パパたちの声

「だじょうぶ」とあと押ししてもらった気持ち

記録がつけられるとなんとか前を向いていけそうと思えた

感動・共感できることばっかり!